

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2020年12月18日）

■第2版 第2刷（2016年 6月25日発行）～

■第2版 第3刷（2018年 2月 1日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodisha.co.jp/correction/9784758107945_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第3章					
216	頁の最後尾		「4 不整脈のリスク分類」を追加	※1をご参照下さい	20/12/18
218	頁の最下部		「表4 LOWN分類(ラウン分類)」を追加	※2をご参照下さい	20/12/18

図表

※1

4 不整脈のリスク分類

- 運動療法中に以下の不整脈を認めた場合には、いったん、運動療法を中止し、医師に相談すること。また十分な薬物療法が行われてコントロールされた後に再開すること。

- ① 新たに発生した重篤な不整脈*を認める場合
- ② 運動療法によって不整脈が明らかに増加した場合
- ③（普段は認めないが）運動中、1分間に10回以上の心室期外収縮が認められた場合

memo *重篤な不整脈とは

- 1) 血行動態に異常をきたすような徐脈性心房細動、または頻脈性心房細動
- 2) Lown分類（表4）IV b以上の心室期外収縮

※2

表4 ● LOWN分類（ラウン分類）

グレード	心室期外収縮
0	なし
I	散発<30拍/時
II	多発>30拍/時
III	多形性（多源性）
IV a	連発（2連発：pair, couplet）
IV b	連発（3連発triple以上）
V	R on T型